

# 手に手を

令和2年(2020年)1月15日

第80号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47  
TEL 0798(33)7713  
FAX 0798(33)7743



## 全体研修会

### 地域の中で自分らしい暮らしをいつまでも ～障害のある人の 高齢者施設での共生を考える～



平成31年度の定時総会が5月22日にフレンテホールにて開催されました。総会後の全体研修会では社会福祉法人きらくえん 名誉理事長市川禮子氏を講師にお迎えして講演いただきました。

社会福祉法人きらくえんは尼崎市の特別養護老人ホーム「喜楽苑」を初めとして芦屋市や朝来市などでも多岐にわたる高齢者介護サービスを運営されています。

法人の理念である「ノーマライゼーション～地域の中で一人の生活者としての暮らしを築く～」のもと様々な新しい取り組みをされてきました。老人ホームにおいて個室が一般的ではなかった頃からパーティションなどを使いプライベートな空間を作る工夫をする、地域とのつながりを大切に自治会に参加するなど地域の方と交流を深める、認知症の方のグループホームに自治会を作る、など社会参加や自立を尊重してこられました。

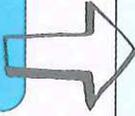
阪神淡路大震災後、市川氏は被災者の為に建てられた「高齢者・障害者地域型仮設住宅（通称ケア付仮設住宅）」で支援をされた際、身体障害の方の車椅子を知的障害の方が押して出かけたり、生きる気力を失った高齢者が一生懸命家事を手伝う障害者を見て自分も何かなくてはと元気を取り戻していく姿に、人はどのような障害があっても残存能力を活かしてお互い助け合え、誇りと生きがいを持つと実感されたそうです。

この時の経験から、福祉の基本が個別ケアならば高齢者、障害者の区別はないのだから障害者が高齢になった時に地域で共生していくために、親子で住めて日常生活の支援やケアを受けられる地域共生型サービス（サービス付障害者住宅）を考えていくべきである、そしてそれを実現する為には国や自治体に施策を要望していくことが必要であると話されました。



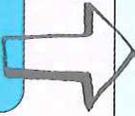
## ♡ わたしたち『西宮啓発隊 輪・和・WA』活動中 ♡

**Q** なぜこんな活動をしているの？



**A** 変な子、困った子、わがままな子、親のしつけが悪いなどと思われがちですが、それは周囲の人が障害特性を「知らない」から。正しく知ってもらえれば、きっと理解が深まると信じ活動しています。

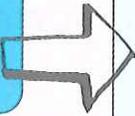
**Q** どんなことを伝えたいの？



**A**

- ・本人たちは何に困っているのか
- ・理解されない時どんな気持ちになるのか
- ・障害は社会（環境）の側にあるということ
- ・人はみんなちがっていて、みんないい

**Q** 知的障害 擬似体験って？



**A** ワークを通して知的障害の特性を体験していただきその人の困っていること、どんな気持ちなのかを知ってもらえるよう工夫しています。

例えば…

手先が不器用なため  
人より少し  
時間がかかる

こんな特性を体験するには、  
軍手をはめて折り紙を折ったり  
枚数を数えたりしてもらいます。



ことばによる  
コミュニケーションが  
苦手

2人1組になり、相手の人にことばだけで  
下の図（国旗）の模様を伝えます。  
相手は聞いたとおりに絵に描いていきますが、果たして…？



ことばよりも絵や写真など  
視覚的支援の方が  
伝わりやすいことを  
体験してもらおうワークです。

特性も100人いたら100通りです。多様な特性のほんの一部を体験していただいています。



6/11 たんぽぽの会交流会



6/14 民生委員研修会(北夙川・苦楽園)



6/29 ワークメイト職員研修会



7/11 民生委員研修会(安井)



9/4 民生委員研修会(今津)



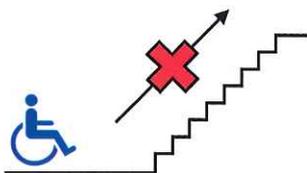
9/5 塩瀬中学校PTA役員向け

今年度も民生委員さんの研修会や福祉事業所の職員研修会、PTA役員さんの会合等にお声をかけていただき知的障害疑似体験ワークをさせていただきました。

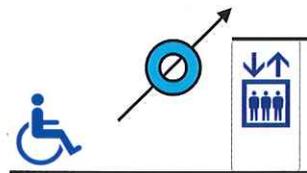
## 社会モデルとは？

～「障害」は、どこにあるでしょうか？～

階段しかないので2階に上がれない⇒「障害」がある



エレベーターがあれば2階に上がれる⇒「障害」がなくなった!



○車いすのかたは何も変わっていない

○変わったのは、あくまでも周囲の環境

⇒「障害」とは、障害者本人の機能障害を指すのではなく、社会のさまざまな障壁によって生じるもの

⇒これが、現在世界の主流となる考え方で「社会モデル」と呼びます (又村あおい氏の資料より)

見ただけではわかりにくい障害の特性や、そこからくる不思議な行動には必ず理由があることを、どのようにすればよりわかりやすく伝えられるのか常にメンバーで話し合い、試行錯誤を繰り返しています。

これまで大人の方を対象に疑似体験を行ってきましたが、子どもの頃からの関わりが大切だということから、今後は小学生を対象としたワークショップにも取り組んでいきたいと考えています。

これからも一人でも多くの方に理解の輪が広がり、和やかで優しい社会になって、みんなが楽しくWAHAHAと笑い合えますように!

## 隊員募集中です!!

疑似体験に関心のある方、ワークのアイデアをお持ちの方、是非一緒に活動しましょう! ご連絡をお待ちしています ☺



第1回  
余暇活動

みんなでカラフル  
手ぬぐいを作ろう

2019年10月14日(月・祝) | 参加者 | 本人24名・家族、支援者31名



講師にアート展でお世話になっています行永亜矢先生をお迎えして、オリジナル手ぬぐいを作りました。

白、ピンク、黄色、水色、紺色の5色から好きな色の手ぬぐいを選びます。それに様々な形の消しゴムはんこを、好きな色のスタンプで押して模様を付けます。スタンプだけではなく絵を描いても自由です。

同じはんこを使って全体に模様をつける人、色々なはんこを組み合わせで絵画のように表現する人、それぞれに素敵な作品が出来上がりました。



★次回のアート展に展示する予定ですので楽しみに！

成人部  
サロン活動

# みんなで歌おう! & 茶話会

2019年9月20日(金) | 参加者 | 35名



講師として会員の堀川珠子さんと伴奏者の丸山智子さんをお迎えし、歌唱指導をしていただきました。曲はみんなが知っている「上を向いて歩こう」です。

まずは発声練習からです。腹式呼吸の仕方を細かく教わりながらやってみるのですがなかなか難しいです。緊張で顔が強張ってくるのを堀川さんの楽しいトークでほぐしてもらいながら練習し最後にみんなで合唱。

短い練習時間でしたがいつもより高い声が出ることに感激しました。

午後からは会員さんにも西宮啓発隊「輪・和・WA」の活動を知ってもらおうと擬似体験ワークを体験してもらいました。その後は親睦会として各テーブルで自由にお話をしていただき、子供の話や健康談などでお話も弾んでいました。



# にしのみや市民祭り

2019年10月26日(土)

前日までの雨も上がり今年も市民祭りが盛大に開催されました。育成会では今年はおもちゃに加えてジュースの販売もしました。お天気が良くなったこともありジュースはお昼過ぎには完売。おもちゃもたくさんの子供さんたちが買ってくれました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



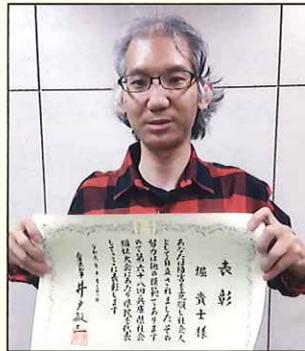
おめでとうございます



2019年10月31日、第68回兵庫県福祉大会において3名の方が兵庫県知事表彰を受けられました。この賞は障害を克服し、社会人として自立され他の規範になる方へ送られる賞です。



竹村 広造さん  
(有限会社中島物産)



堀 貴士さん  
(2019年8月より  
すずかけ労働センター)



薮田 健さん  
(エム・シー・シー食品株式会社)

学齢期部 活動報告

学齢期研修会

2019年7月8日 (月)

西宮市生活支援課の合田係長と岩崎係長をお招きして障害のある子どもに対する支援制度についてお話いただきました。

年齢に応じた支援制度を説明していただいた後、質問にも答えていただきました。今回は会員以外の方にもお声がけをして20名の参加がありましたが、「将来のお金について勉強したい」という意見が多かったので次回につなげていければと思います。



一羊園見学会

2019年10月28日 (月)

参加者6名で一羊園へ見学に行きました。

昼食後で利用者みなさんはゆっくりくつろいだり、散歩されていました。

居住棟ではお部屋やリビング、食堂を見学、別棟の作業場も案内していただきました。

その後の質疑応答では利用者の平均年齢が57歳と高齢化になりつつあるということから食事や入浴での工夫や特別な配慮等のお話を伺いました。初めて入所施設を見学する参加者もあり、勉強になりました。



## 「あいすくりーむの家」見学

2019年7月25日(木)

社会人の保護者会に同行させていただき明石市にある社会福祉法人 明桜会の「あいすくりーむの家」を見学しました。

敷地の真ん中にあるシンボルツリーかいのき（花言葉は「夢心地」）を囲むように、あいすくりーむの家、かいのき、ショコラ、バニラという建物が並んでいました。



**【あいすくりーむの家】** 医療的ケアが必要な方のために24時間365日看護師が常駐している施設です。すべての居室内に移乗用リフトや車イスで入れるトイレ、洗面台も設置されていました。体が不自由になっても設備が整った浴室でゆっくり入浴を楽しめるそうです。

**【ショコラ（男性）バニラ（女性）】** 日常生活がほぼ自立できる方、あるいは軽い介助が必要な方が生活できるグループホームです。

**【かいのき】** 日中の時間を楽しく過ごす施設です。カラオケやボールプールもありました。リハビリルーム、リラックスしたい方のためにスヌーズレンもあります。皆さんに何をしたいか希望を聞いてスタッフが個別に対応するそうです。

支援スタッフも手厚く配置され家庭的な雰囲気を感じました。高齢になったり医療的なケアが必要になるなど、どのような状況になっても住み慣れた場所でその人らしく人生が送れ、その方の人生の悔いが一つでも少なくなるように、そんなケアを目指されている理想的なグループホームだと思います。



## 【すずかけ作業所の移転先が決まりました！】

すずかけ作業所の移転先が今津出在家町に決まりました。今津駅を南へ、臨港線沿いです。2021年5月頃に竣工予定です。楽しみですね！



## 西宮市が **あいサポート運動** の協定を結びました

「あいサポート運動」とは様々な障害の特性を知り、障害のある人が困っている時にちょっとした手助けをすることで誰もが暮らしやすい社会を作っていこうという運動です。そのためにあらゆる障害について学ぶ研修会を開き「あいサポーター」を養成する事業を西宮市が行います。この運動は2009年に鳥取で始まり全国に広まっていますが、兵庫県内で協定を結ぶのは西宮市が初めてです。共生社会の実現に向けて多くの方がサポーターになってくださると嬉しいですね。

研修を受けると  
あいサポーターバッジ  
がもらえます



## 育成会フォーラム2019のお知らせ



### みんなですすめる「安心」のまちづくり part3

★日 時：2020年2月4日(火) 13:00~16:00

★場 所：西宮市立勤労会館 4階 第8会議室

今年度も「育成会フォーラム」を開催します。前半の講演では調布市福祉健康部 部長 山本雅章氏をお迎えして調布市の地域生活支援拠点の整備についてお話しいたします。後半のパネルディスカッションでは調布市の取り組みを参考に、行政と関係機関が力を合わせて、どのように西宮スタイルをすすめていくかをそれぞれの立場で考えます。ぜひご参加下さい。

### （ 会 員 を 募 集 し て い ま す ）

一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会は知的障害者本人と保護者の会です。知的障害者への理解と社会への啓発に努力し、社会福祉の向上に寄与することを目的として、様々な活動をしています。

#### 正会員・本人会員

講演会や研修会に参加して知識を広めたり、会員同士の交流を通していろいろな情報を得るなど、私たちと一緒に活動しましょう。

- ・入会金 入会時10,000円 (学齢期会員・本人会員は免除)
- ・年会費 正会員10,000円 (学齢期会員は5,000円)  
本人会員 免除
- ・育成会協力金 年額10,000円 上限あり  
(学齢期会員のうち中学生以下は猶予可)

#### 賛助会員

賛助会員として、当会をご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ・年会費 一口2,000円 (何口でも可)

お申込み  
・  
お問合せ

一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会  
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47  
TEL 0798-33-7713 FAX 0798-33-7743  
E-mail teni-tewo@nishi-ikusei.jp  
ホームページ <http://nishi-ikusei.jp>

**編集後記** 「手に手を」も80号を迎え、今回から全ページフルカラーになりました。それに伴い来号からは題字も新しくできればと考えています。皆さまからデザインのアイデアを募集中ですのでよろしくお願ひします。 広報部一同より